



Konomi kindergarten



ART

Festivals



木の实幼稚園
造形展

2026.2.13(金)13:00-16:00

2.14(土) 9:00-12:00

13:00-16:00



木の実のプロジェクト型保育について

ご承知の通り、本園ではイタリアのレッチョ・エミリア市の幼児教育理念に共鳴し、「プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）」という名前で実践されている教育を、現在3年保育以上の全てのクラスで行っております。

プロジェクト・アプローチ（プロジェクト型保育）は、1）何より子供が中心となって教師とどんなことも話し合い保育を進めていくこと。2）子供の興味、関心に基づいたトピックに基づいて、様々な遊びと活動を関連づけたカリキュラムを作る事がその大きな特徴で、遊びや活動の経験内容とそのつながりを重視するカリキュラムです。

活動や遊びを一方向的にさせるだけのカリキュラムではなく、子供たちが示す興味や疑問、問いかけを「トピック」（話題）にして、教師がそれらをまとめて「テーマ」を設け、そこから色々な活動が子どもとの話し合いの中で展開されていく、「探求型のカリキュラム」とも言えます。

そのトピックやテーマ、活動が展開されていく流れをまとめたものが、この冊子の各クラスの内容紹介の末尾に付けられている「トピック・ウェブ」＝「話題の繋がり」～気づき、関心、話題の広がりや繋がりを網の目のように図示したものです。

今回の造形展でも、このプロジェクト型保育の中で子供と保育者が一緒に考え、様々なものを活用して色や形で遊び、表現する「活動・探求の過程」を年間通して展示しております。

～「トピック・ウェブ」の見方～

☆プロジェクト型保育では、子供たちが日々の遊びや生活の中で気づいたり、驚いたり、関心を持ったことが**保育のきっかけ（破線で表示）**になります。このきっかけがその後の保育が展開される大切なきっかけになります。やがて、その中から色々な話題や活動をまとめる「**テーマ**」が生まれてきます。

トピック・ウェブでは、**遊びのきっかけ＝興味・関心・気づき**が  と図示され、

そこから生まれた**テーマ**が  と図示されています。

さらに、これらから広がった**トピック（話題）**が  と図示されます。

そして、この**話題から生まれた造形遊びや活動**が  と図示されています。

私たちの思い ～プロセス・子どもの経験を大切にしたい～

木の実幼稚園の造形展では、この**1年の子供の気づきや興味や関心の変化、保育者や友達と話し合い、語り合っ**て生まれた様々な遊びの広がりの中で、**造形活動がどのようにして生まれてきたか**を見ていただく内容になっています。

その為、1、2学期の作品は、一つの活動のテーマごとに全員の作品が展示されているわけではありません。テーマごとに何点かの作品が選ばれて展示され、また作品として残っていない粘土や立体作品は写真やドキュメンテーションとして展示する場合があります。(当然作品の点数は不公平の無いように、担任が慎重に選択します。)

展示の何割かは3学期の作品になりますが、これも全ての子供が同じ画材、同じテーマで活動した作品がある場合だけではなく、クラスによってはクラスの中で子供たちがしてみたい活動やテーマ、画材、材料を選び、いろいろな表現や作品が、活動のグループごとに展示されていることもあります。また、クラス通信でお知らせしたものと異なるものが、子どもたちの中で広がり、この1月から2月になって新たに取り組んだ活動もあります。

私たちは何より個々の作品の出来不出来を大人目線で見るとは無く、その子、その子の思い〔夢、空想、興味、驚きや発見・・・〕と表現の面白さ、多様性、幼児らしい発想と工夫をその色や形、お話から感じて、共に喜んでいただきたいと思います。

そして自分の子供の作品だけ見て帰るというのではなく、クラス全体がどのように動いてきたのか、どんな遊びや経験、生活をしてきたのか、各担任がどんな思いや願いをもって保育を進めてきたのかを、作品に付された子どものお話の記録、またドキュメンテーション(保育の記録)もよく読んで、保育のプロセス・過程を大切に感じていただきたいと思います。

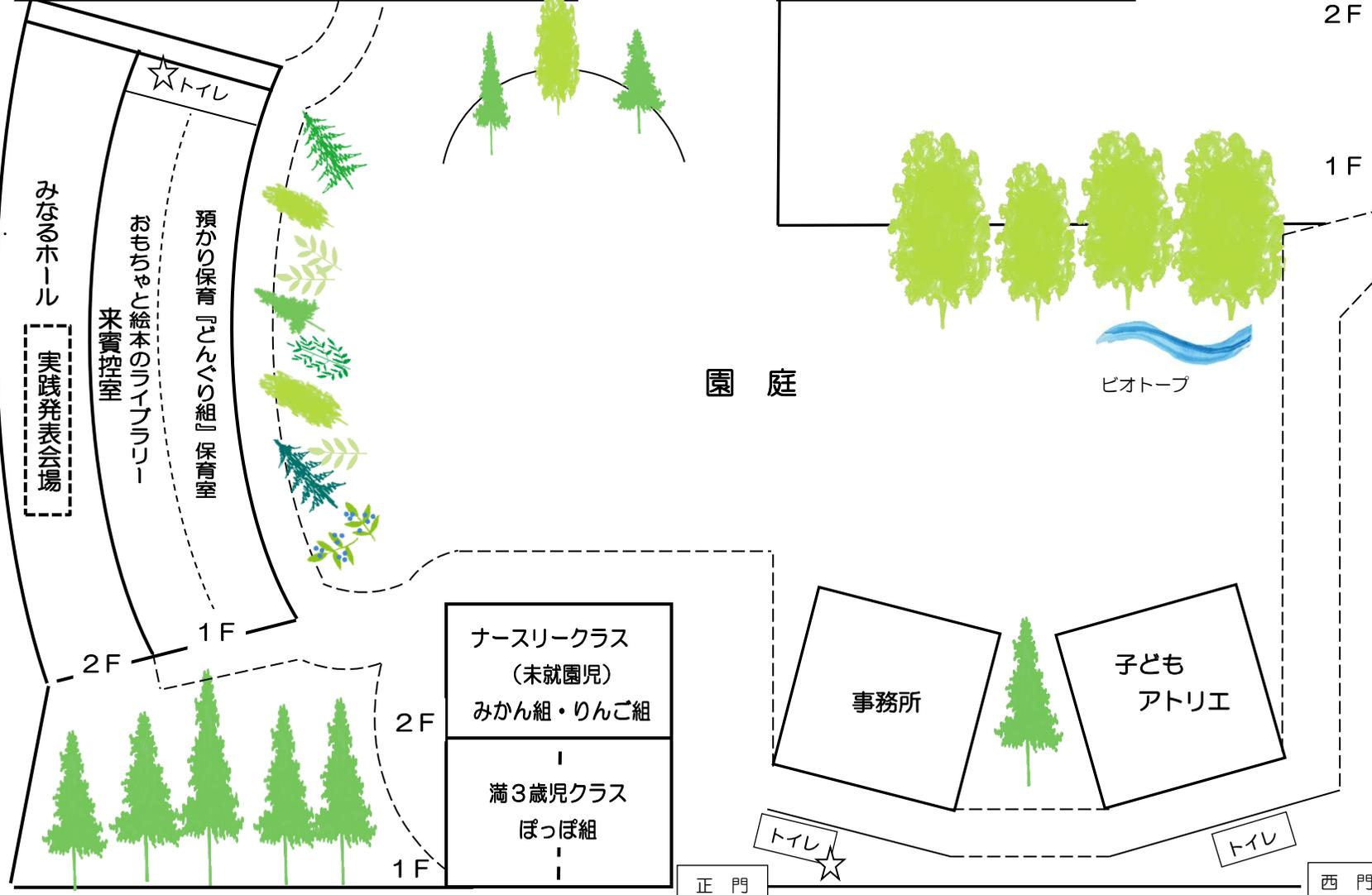
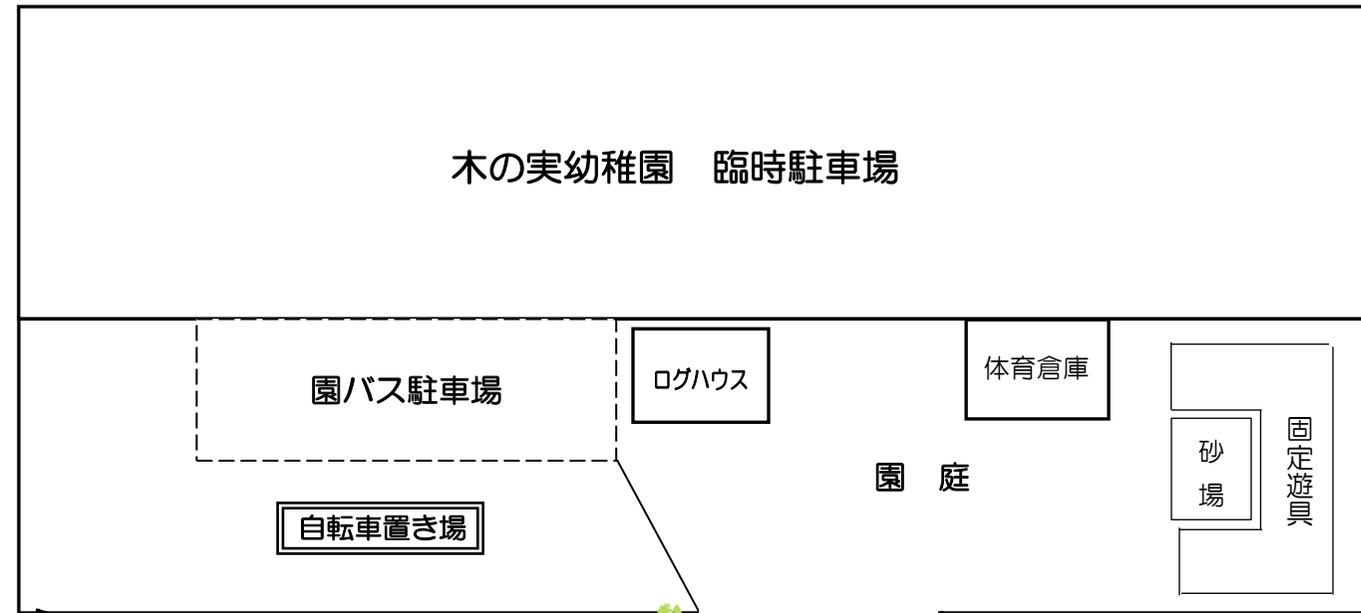
子ども達が生み出したもの・作品を見る時は……

- 1、 **自分の子どもの作品だけではなく、興味をもった作品や遊びは、じっくりと見て、感じ、いろいろと考えてみてください。「早見・飛ばし見」では、何も心に届きません。**
- 2、 **色づくりや面白い形を作って遊んだ作品は、「造形遊び」と言います。何を表しているかよりも、その色や形の面白さをよく見て、感じて、楽しんでください。**
- 3、 **それらしい形が描けているものだけが良いではありません。それらしい形でなくても、その子、その子の工夫や思い、お話があります。それをしっかり受け止めましょう。**
- 4、 **他の子どもと比較するのではなく、その子、その子が以前と比べてどう変化したのか、その育ちをよく見てあげてください。「比較」よりも、「あるがまま」を受け止めましょう。**
- 5、 **「上手・下手」だけで判断しない。その子の工夫を理解・共感して、お話をよく聞いてあげましょう。そして一緒に面白がれれば、みんなが幸せです。**

こんな姿勢で、ゆっくり、じっくりと子供たちの表現の世界を楽しんでいただければ幸いです。

木の实幼稚園 臨時駐車場

木の实幼稚園 全体見取り図



				トイレ☆	トイレ
2F	花 (年中)	鳩 (年中)	ひよこ (年少)	パンダ (年少)	うさぎ (年少)
1F	星 (年中)	月 (年中)	雪 (年中)	コアラ (年少)	アヒル (年少)
	※ウッドデッキは土足厳禁です。			1F	2F
2F	松 (年長)	梅 (年長)	トイレ	桜 (年長)	
1F	給室食	竹 (年長)	トイレ☆	光 (年長)	

☆印は大人のトイレです。

ぽっぽ組のお部屋

担任：宇治田 沙季 / 大松 タ可里 / 中平 明日香

ぽっぽ組は、毎月3歳を迎えた子ども達が入園する満3歳児のクラスです。入園時期や、これまでの経験の違いに合わせて、前期・後期の2つのクラスに分かれて生活しています。その中で、子ども達一人ひとりの「今」を大切にしながら、日々の保育を重ねてきました。月齢や経験の違いも、遊びの中で積み重ねてきた姿から、造形展を通して感じていただければと思います。

今回の造形展では、作品そのものよりも、子ども達が遊びの中で何に会い、何を感じ、どのように関わってきたのか、その過程が伝わるよう、ドキュメンテーションを中心に展示しました。

作品の形や数ではなく、一人ひとりが積み重ねてきた「遊びの軌跡」に目を向けていただけたら嬉しいです。

遊びの流れ

前期クラスの姿

(4月～8月生まれ)

物との出会い

- ・絵の具
- ・どんぐり
- ・自然物
- ・小豆

繰り返し遊び・気づき

- ・描く
- ・転がす
- ・色が混ざる
- ・砂におもちゃを引くと、線が付く
- ・入れる（はいれる）場所がある
- ・囲まれた形

イメージや思いを伝える

- ・見立てる
- ・並べて表す
- ・作ってみる



子どもの心持ち

面白い、楽しい、嬉しい

周りの人との信頼・安心

次の活動へ、遊びへ

後期クラスの姿

(9月～1月生まれ)

物との出会い

- ・自然物
- ・ビーズ、毛糸、スポンジ
- ・紙
- ・シール

繰り返し遊び・気づき

- ・空ける
- ・入れる、出す
- ・触る
- ・転がす
- ・並べる
- ・通す

イメージや思いを伝える

- ・運転手になる
- ・ご飯にする

わが子は“今、ここ！”

お子さんは、どこの遊びを楽しんでいる段階かな？

繰り返し遊び

- ・繰り返しが楽しい
- ・さっきと同じ結果になるか試す

気づき・真似

- ・「あれ？」と気付く
- ・跡、形、変化を見る

イメージや思いを伝える

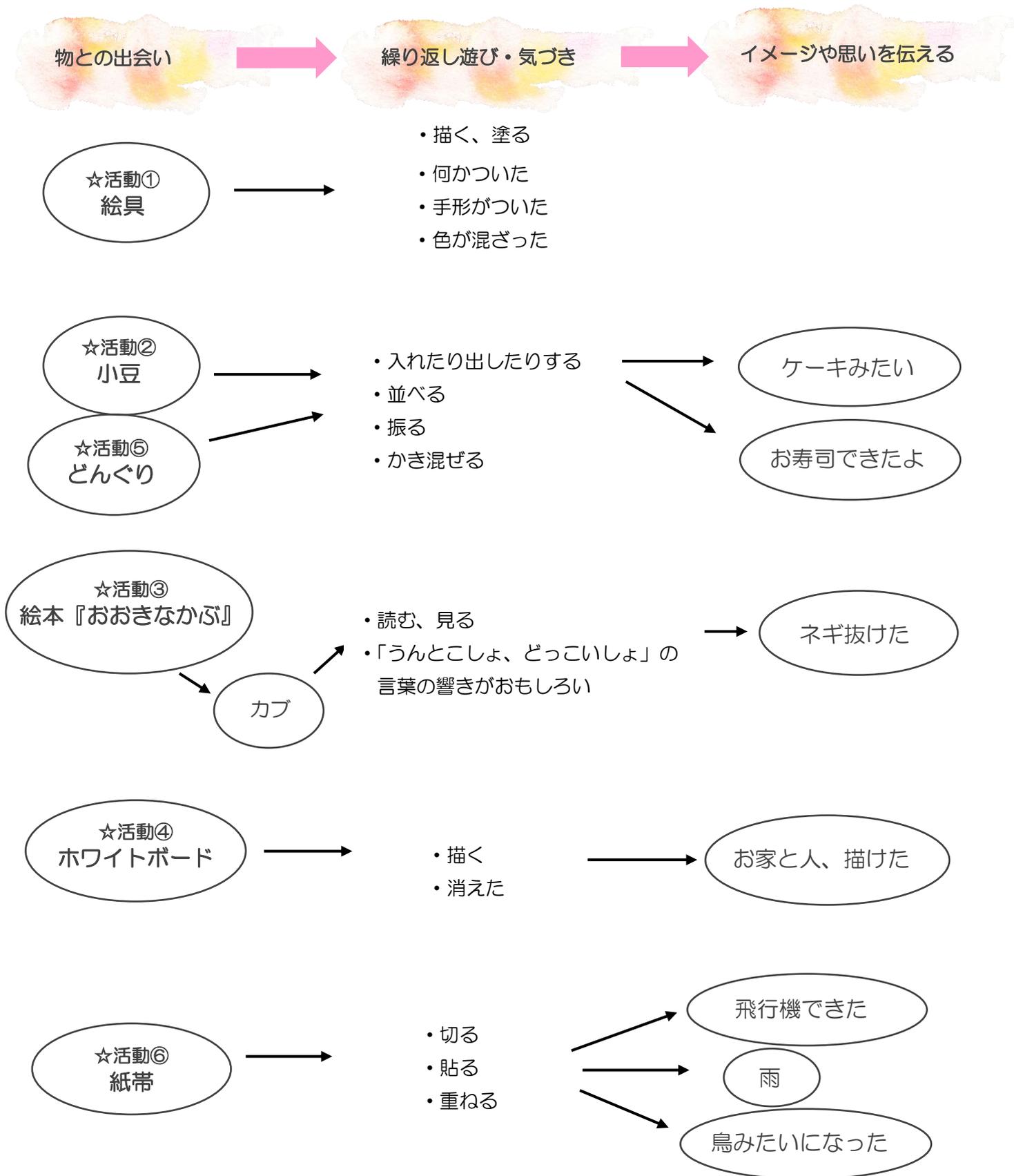
- ・「〇〇みたい！」と言う
- ・並べたり、作ったりする

遊びは、行ったり来たりしながら深まっています。どの場所も、育ちの途中にある大切な時間です。

前期クラス（4月～8月生まれ）の活動

前期クラス（4月～8月生まれ）…☆

後期クラス（9月～1月生まれ）…★



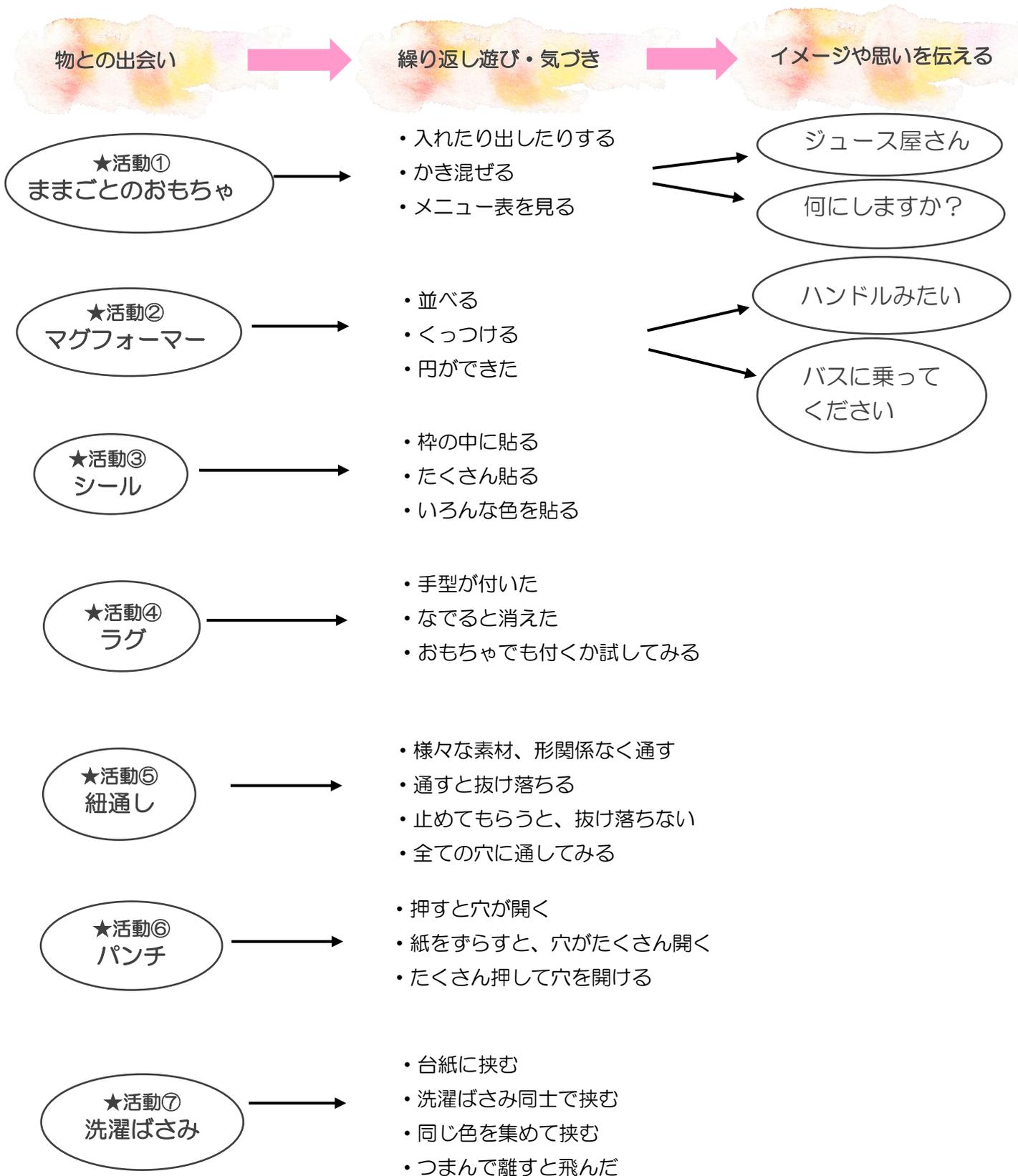
※活動⑥～活動⑩についても、このような形を大切に取り組んできました。ドキュメンテーションを中心に展示しておりますので、作品と合わせて、ゆっくりとご覧ください。

※ナースリー組在園中の作品は、ナースリー組（東棟2階）に展示していますので、そちらもご覧ください。

後期クラス（9月～1月生まれ）の活動

前期クラス（4月～8月生まれ）…☆

後期クラス（9月～1月生まれ）…★



※ナースリー組在園中の作品は、ナースリー組（東棟2階）に展示していますので、そちらもご覧ください。

活動の展開 と 造形遊び

見立て遊び(ままごとコーナーを楽しむ姿からの展開)

6月

「自然物おままごと」

9月

「粘土と素材」

11月

「はじめてのはさみ・はさみで切った紙でままごと」

12月

「紙粘土でお菓子作り」

1月

「自然物おままごと」

色遊び

5月

「絵の具遊び」

9月

「にじみ遊び」(色水霧吹きを用いて)

11月

「筆でにじみ遊び」

12月

「絵の具」(筆を用いて混色遊び)

日々の生活の中で生まれる 造形遊び

5月 「シール遊び」

5月 「マーカー遊び」

6月 「クレヨン遊び」

6月 「スタンプング」(絵の具と素材を用いて)

9月 「センサーボトル」

11月「シール遊び～模様に影響されてみよう～」

1月 「いろいろ葉っぱ探し」

1月 「大きな紙に貼って描こう」

初めての幼稚園での生活に緊張気味の子ども達も、活動が始まると「なんだろう?」、「楽しそう!」と興味津々で取り組む姿がありました。初めて目にするものや、初めて経験することに、目を輝かせながら遊ぶうちに、どんどん面白いポイントを見つけたり、近くにいる友達の遊び方を真似してみたりと、自分だけでなく、時には友達と一緒に、工夫をしながら楽しめるようになってきました。活動をするうえで、「こんな経験をしてほしいな。」、「こんな所に気づいてくれたらいいな。」と思いをもち子ども達に伝えますが、遊び方や完成形に正解は持たず、一人ひとりの「こうしてみよう!」、「これが楽しい!」という気持ちを大切に、保育を進めてきました。描いただけ、貼っただけに見えても実は、よく見ると、こだわった所や、ここが楽しかったのかな?と感じる部分が見えてくるはずです(^)そんな一人ひとりの夢中になった部分を、ぜひ見つけていただければと思います。お子様と一緒に、ゆっくりご覧くださいね♪